

学校教育目標	○すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子	【目指す学校像】	人も自分も大切に、みんなが輝く成隣小
		【目指す児童・生徒像】	互いを認め合い協力し合いながら課題を解決し、児童一人一人が前向きに学校生活を送っている
		【目指す教師像】	自身の知識・技能の向上に努め、学校の実践力、「チーム成隣」としての組織力を向上させている

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	◎主体的に学習に取り組む児童を育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識・技能を習得させる。 ・児童一人一人に注目し成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	児童の学習に対する目的意識を大切に、自身の学びを実感できる授業を実施する。	①学習のめあての提示 ②振り返りを実施 ③ICT機器の活用	4 全ての教員が、児童が主体的な授業を行った 3 8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った 2 7割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った 1 児童が主体的な授業を行った教員が7割以下であった	4	4 児童アンケート「すすんで学習」9割以上 3 児童アンケート「すすんで学習」8割以上 2 児童アンケート「すすんで学習」7割以上 1 児童アンケート「すすんで学習」7割未満	4	前向きに授業に取り組む児童が多く、指標が高く出ている。落ち着いているのが何よりの学びになっている。	落ち着いて学習で来ている様子が伺える。	A	学力の向上をより一層図るため、低学年算数少人数指導の導入や放課後補習教室の拡充を図る。
		子供たちが経験や体験を深める活動を十分に設定する。	外部講師、地域人材を活用した授業を各学年、学期に2回以上実施する。	4 年間6回以上の外部講師、地域人材を活用した授業を行う 3 年間4回以上の外部講師、地域人材を活用した授業を行う 2 年間2回以上の外部講師、地域人材を活用した授業を行う 1 年間2回以下の外部講師、地域人材を活用した授業を行う	4	4 児童アンケート「授業が楽しい」9割以上 3 児童アンケート「授業が楽しい」8割以上 2 児童アンケート「授業が楽しい」7割以上 1 児童アンケート「授業が楽しい」7割未満	4	今年度の重点として各教員が積極的に取り組み、大きな成果を出すことができた。	楽しい授業は児童の意欲を引き出すことができている。引き続きの取組を期待したい。	A	次年度も引き続き取組を継続し、多様な教育機会を提供できるようにしていく。
		日常的な書く活動を通して思いを表す力を向上させる。	①年2回以上、書く活動の授業観察を実施 ②週一回、朝学習時に書く活動の実施	4 週一回、朝学習時に書く活動の実施9割以上 3 週一回、朝学習時に書く活動の実施7割以上 2 週一回、朝学習時に書く活動の実施5割以下 1 週一回、朝学習時に書く活動の実施5割以下	3	4 児童アンケートで「書くことが楽しい」が9割以上 3 児童アンケートで「書くことが楽しい」が7割以上 2 児童アンケートで「書くことが楽しい」が5割以上 1 児童アンケートで「書くことが楽しい」が5割未満	4	児童アンケートでは数値が高く出たが、学校全体で徹底できていない部分がある。	今後も継続的な取組を期待したい。	A	土曜補習教室では作文指導を重点的に行うことができた。引き続き指導を継続する。
豊かな心	◎互いを認め、協力し合う児童の育成する。 ・児童の言語環境を整え、人権感覚を高める。 ・互いを認め合い、物事を共に創造する体験的な活動を重視する。 ・互いに支え合う、よりよい関係を大切にした活動を重視する。	あいさつを基本とした教師と児童、児童間の良好なコミュニケーションを築く。	元気に挨拶する児童を増やすため、学級経営の充実と特別活動の推進を図る。	4 挨拶運動の年4回以上の実施 3 挨拶運動の年3回の実施 2 挨拶運動の年2回の実施 1 挨拶運動の年1回以下の実施	3	4 児童アンケートで「すすんであいさつする」が9割以上 3 児童アンケートで「すすんであいさつする」が7割以上 2 児童アンケートで「すすんであいさつする」が5割以上 1 児童アンケートで「すすんであいさつする」が5割未満	4	今年度の重点として各教員が取組を行った。一定の成果は出たが、挨拶の定着をもう一步進めたい。	元気にあいさつしている様子が見られている。	A	地域との連携挨拶運動を増やす。また、引き続き、学級経営の充実と特別活動の推進を図る。
		児童が個々のよさを発揮して成長できる学級集団・学年集団を形成する。	①キャリアパスポートの活用 ②QUテストの活用	4 全ての学級でQUテストの結果を活用した。 3 9割以上の学級でQUテストの結果を活用した。 2 8割以上の学級でQUテストの結果を活用した。 1 QUテストの結果を活用した学級が8割以下だった。	4	4 2回目のQUの結果で安定感のある学級が3割以上 3 2回目のQUの結果で安定感のある学級が2割以上 2 2回目のQUの結果で安定感のある学級が1割以上 1 2回目のQUの結果で安定感のある学級が1割未満	4	学級も落ち着いて過ごすことができている。個々の良さを発揮して成長できる集団の育成を今後も進める。	高学年が低学年の面倒を見ている様子をよく見かけた。児童が個々の良さを発揮できている様子が伺える。	A	単に落ち着いた学級を目指すのではなく、児童が個々のよさを発揮できる集団を推進する。
		児童の言語環境を整え、いじめ問題の未然防止と早期解消に全職員で取り組む。	①いじめ防止授業の実施 ②外部講師を招いてのいじめ防止研修会の実施	4 外部講師を招いての研修を年3回以上実施した。 3 外部講師を招いての研修を年2回実施した。 2 外部講師を招いての研修を年1回実施した。 1 実施できなかった。	3	4 社会通念上のいじめ件数の前年比2割以上の減少 3 社会通念上のいじめ件数の前年比1割以上の減少 2 社会通念上のいじめ件数の前年とほぼ同水準 1 社会通念上のいじめ件数の1割以上の増加	4	いじめは激減したが、なくなったわけではない。今後も取組を続けていく。	全体的な児童の雰囲気はよい。見えないところでのいじめに留意しつつ取組を続けてほしい。	A	スクールロイヤーの研修会を継続する。また、児童の状況を共有できる機会を引き続き確保する。
健やかな体	◎心身を鍛え正しい判断で行動する児童の育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識及び技能を習得させる。 ・児童一人一人への注目と成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	日常的な運動を通して体力を向上させる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け	4 全教員が体力向上プランを活用した指導を行った 3 8割以上の教員がプランを活用した指導を行った 2 7割以上の教員がプランを活用した指導を行った 1 7割未満の教員がプランを活用した指導を行った	4	4 児童アンケートで「運動が楽しい」が8割以上 3 児童アンケートで「運動が楽しい」が7割以上 2 児童アンケートで「運動が楽しい」が6割以上 1 児童アンケートで「運動が楽しい」が6割未満	3	体力テストはほぼ全国平均値であるが、低学年がやや低く、高学年男子が全体を引き上げている。	地域の公園では運動している児童をよく見かける。学校での取組に期待したい。	A	体育関連のOJTの充実、教員の研修を推進する。また、体力増進の取組を検討し実施する。
		健康で安全な生活のために必要な生活習慣を身に付けさせる。	①グッドモーニング60の推進 ②元気アップガイドブックを活用	4 全教員が元気アップカードを活用した指導を行った 3 8割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った 2 7割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った 1 7割未満の教員が元気アップカードを活用した指導を行った	4	4 8割以上の児童がグッドモーニング60の目標を達成している 3 7割以上の児童がグッドモーニング60の目標を達成している 2 6割以上の児童がグッドモーニング60の目標を達成している 1 6割未満の児童がグッドモーニング60の目標を達成している	4	グッドモーニング60の取組を通じて、早寝早起きや朝の排便習慣が定着している児童が多い。	グッドモーニング60のさらなる定着に期待したい。	A	引き続き取組を継続していく。
		安全教育を系統的に進め、自分の命を自分で守る力を育む。	①女生教育主体計画改訂(8月・2月) ②避難訓練の改善(年11回) ③安全指導日の指導(年11回)	4 全ての教員が、安全指導を計画的に行った 3 8割の教員が、安全指導を計画的に行った 2 7割の教員が、安全指導を計画的に行った 1 6割の教員が、安全指導を計画的に行った	4	4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下	2	外部講師の積極的運用等で安全教育の充実も行ってきたが、保護者の肯定的評価は67%にとどまった。	児童に関してはよく取組を行っていると思う。各所と連携し、保護者の周知をお願いしたい。	A	引き続き取組を継続するとともに、保護者への取組の周知や、安全教育活動への参加を促していく。
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	各学年で外部人材を活用した授業を新規に計画する	4 全学年で新規外部人材を活用した授業を実施した 3 7割以上の学年で新規外部人材を活用した授業を実施した 2 5割以上の学年で新規外部人材を活用した授業を実施した 1 新規外部人材を活用した授業を実施した学年が5割未満	4	4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下	4	この一年で大きく推進することができた。地元企業や市関連の組織とパイプを構築することができた。	地域の方々との交流がすばらしい。続けてほしい。	A	引き続き取組を継続していく。
		保護者ともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。	地域と連携し、挨拶運動や安全見守り活動の強化を行う。	4 地域と年4回以上の連携ができた 3 地域と年3回以上の連携ができた 2 地域と年2回以上の連携ができた 1 地域との連携は年2回以下だった	4	4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下	2	工夫して地域との連携を行ってきたが、PTAや自治会子供会の休会で活動の維持が難しくなってきた。	難しい問題であるが、地域と連携しつつ取組を続けてほしい。	B	地域コーディネーターの確保を行い、学校運営協議会を中心に地域との連携を深める。
		HPやメールを活用した情報発信力を強化する。	1学期中にHPをリニューアルを行い、週1回以上の更新を行う。	4 毎日HPを更新する 3 週に一回以上更新する 2 月に一回以上更新する 1 更新が月に一回以下	4	4 HPのPVが年間10000回以上 3 HPのPVが年間7000回以上 2 HPのPVが年間5000回以上 1 HPのPVが年間5000回以下	4	目標を達成し、情報発信力を高めることができた。	情報をしっかりと発信できている。更新頻度も高く、とても良い。	A	新しいメールシステムを活用した、写真付きの児童の様子を行事時にリアルタイムで配信する。